

ニテ全國的運動ヲ起スノ必要ヲ痛感ス何レノ組合ニ
於テモ本向蹊ハ甚ク大ニシテ叫ハレ居ルモ其実現層
昂ナラザルハ原因多クアレハレト云日本人ノ島國根
性ハ其一ナルト更ニ韓露ニ於テ其準備ニ怠慢ナルカ
最大ノ原因ナリト信ズ準備トハ何ヲ云フカ組合ノ以
存ナリ造ラニ組合利己心ニ任ハレ無産大衆ニ驚愕セ
ガルハ統聯合ノ氣運ヲ阻害スルモノナリ吾人ハ眞ニ
吾等協同作利己心ヲ棄テ一聯合スレハ總全共ニ傳
統的精神ヲ蹂躪セサル程度ニ於テハ緝作スルモノハ
かん決心ナリ而シテ聯合ノ前途トシテ先ヅ産業別ニ
内部ノ整理ヲ為シ以テ其実現ヲ期セントス実行方針トシテ
嶺山ニ若一名ノ委員ヲ選ビテ産業別合同ヲ促シテ東京協同組合會議ノ
如クモリテ東西九州地方ニモ設置シテ右組合間ノ感情ヲ融和シテ計ラントス

五ハ三四回質問應答アリテ討論ニ付テ遂ニ協同組合ニ大
体提案者ニ賛意ヲ示スルモ 總同盟ニハ固有ノ利益ヲ
以テ之ノ歴史ヲ考フル時解體スルカ如キハ懸念甚クシ
シテ急進論ニハ反対ナリト述ブルヤ關東合同者口創
成ハ總同盟ノ精神ヲ齎セザル推リ前ノ上ニ於テ緝作
スルハ吾人ナシト較シ議長ヨリ亦亦ハ總同盟ノ精神
一方針ヲ確立スルニ至テ重要案件ナルヲ以テ本系ヲ中心
トシテ審議スルニ努メ他人ノ言葉尻ヲ担ハテ之無味
鮮ク論難スルハ避ケラレタシト希望スル處ナリ次ニ
東京鉄工組合土井生作ハ漫然タル總聯合ノ義又ノ下
ニ集ルハ再び分裂ノ機運ニ迫ルハ勿道ナリ故ニ之ヲ
各組合間ノ融和ヲ計ルヲ中要トナルヲ以テ總同盟ト